

# 平成 27 年度「地域 NPO 活動体験」ガイダンス

コミュニティ再生・ケアセンター  
鈴木雅之 田島翔太

## 1. この授業の目的

**目的** 地域再生を実践する NPO 等にボランティアとして参画し、地域活動や市民団体の役割とその実践について学ぶこと。  
また、地域の活性化のためにできること、活性化を担うために大切なことを具体的に掘り下げ、「地域社会」のこれからのあり方について理解を深めること。

## 2. この授業の達成目標

- ①参画した活動が取り組む地域社会の課題やニーズ、取り組みの意味について、代弁者として説明ができる。
- ②共同で活動を行ない、対象に満足してもらうための基本的なスキル（コミュニケーションやマナー等）を身につけ、社会の一員として責任ある行動を取ることができる。
- ③活動の体験を今後の大学での学問を学ぶことの動機づけへと結びつけることができる。

## 3. 派遣を予定している NPO 団体

- 団地再生に取り組む団体
  - 地域マーケットの支援をしている団体
  - 公園内にバスケットコートの設置運動を行っている団体
  - 障害者の就業支援（レストラン・農業・園芸）を行う団体
  - 介護予防を行う団体
  - ごみ削減に取り組む団体
  - 地域の環境調査を行う団体
  - 地域防災活動に取り組む団体
  - 子供たちに舞台芸術を見せる活動に取り組む団体
  - NPO 活動の支援を行う団体
  - …など
- 活動地域 千葉市、松戸市、柏市など
- 活動時間 計 50 時間（第一期 8・9 月、第二期 10～12 月 プログラムは 25 または 50 時間）

#### 4. 【注意点】受講登録について

- ・受講希望者は、WEBでの履修登録をしないこと。
- ・登録は、単位認定時に大学側で実施する。
- ・既に履修登録を済ませている人は履修登録・修正期間内に削除すること。

#### 5. 履修のための条件

- (1) Moodleに登録すること。<http://moodle.chiba-u.jp/moodle/>：4月30日（木）まで
  - 今後の授業に関する連絡等はすべて Moodle の ML 機能を通じて行ないます。大学発行のメールアドレスを転送設定するなど、必ず手元に届くようにしておいてください。メールは PC で受け取れるものにしてください（携帯不可）。
  - 左側サイドメニューの「すべてのコース」から「普遍教育」-「教養展開」-「地域NPO活動体験（通期・集中）」（G15U15001）
  - 登録キー：**npo2015**
- (2) 千葉市、松戸市、柏市等で活動するNPO団体での活動に計50時間以上（25時間×2または50時間のプログラム）参加すること。
  - 派遣に必要な保険加入の確認、先方との面談、計画書の提出などがあります。
- (3) 事前学習1（5/16）、事前学習2（6/20）、中間報告会（10/3）のすべてに参加すること。
  - やむを得ず、上記に参加できない場合は事前にコミュニティ再生・ケアセンターの教員に相談すること。但し、認められない場合もあります。
- (4) 最後に、事後学習として、派遣報告書を提出すること。
  - 成績は、受け入れ先による評価（50%）と、派遣報告書などに基づく活動に対する理解・目的・目標の達成度による評価（50%）となります。

#### 6. 注意事項

- ・問題が発生した場合、派遣先担当者およびコミュニティ再生・ケアセンターまで連絡すること。

#### 連絡・問い合わせ先

千葉大学 コミュニティ再生・ケアセンター（楓ホール1階）

担当：鈴木 田島

メール：coc@chiba-u.jp

ウェブ：www.coc.chiba-u.jp

フェイスブック：www.facebook.com/cocchiba

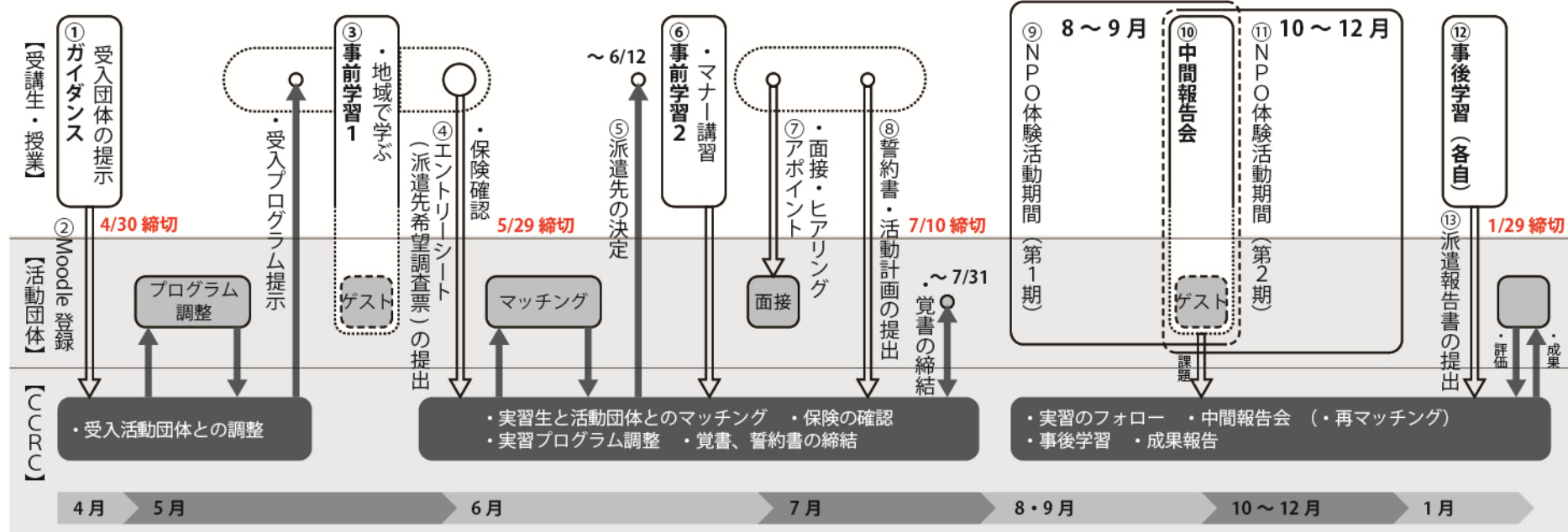
## ■平成 27 年度「地域 NPO 活動体験」授業スケジュール

4月 21,22,23 日  
12:10-12:40@D24

5月 16 日 (土)  
10:00-12:00@D21

6月 20 日 (土)  
時刻・場所未定  
Moodle でアナウンスします

10月 3 日 (土)  
時刻・場所未定  
Moodle でアナウンスします



- ① 4/21-23：ガイダンス。
- ② 4/30 まで：受講希望者は Moodle に登録
  - 派遣先リストや受入プログラムの内容を随時 Moodle に掲示します【CCRC】
- ③ 5/16：事前学習 1。「地域で学ぶ」をテーマに、なぜいま地域で活動できる人材育成が求められているのかについて、コミュニティ再生・ケアセンター教員や NPO 団体が発表します。また、派遣予定先の NPO 団体に一部参加いただき、活動内容を説明します。
- ④ 5/29 まで：エントリーシート（派遣先希望調査票）の提出。希望する派遣先を申込みします。また、各自で保険加入の有無を確認してください【学生→CCRC】
- ⑤ 6/12 まで：派遣先を決定・通知します【CCRC→学生】
- ⑥ 6/20：事前学習 2。ビジネスマナーなどの講習を受けます。
- ⑦ 7/10 まで：各自で派遣先に予約を取り、ヒアリングに行き、日程などの調整を行ってください【学生】

- ⑧ 7/10 まで：誓約書・活動計画を提出してください【学生→CCRC】
  - 7/31 までに CCRC と学生で覚書を締結します。
- ⑨ 8～9 月：NPO 活動体験期間（第 1 期）
- ⑩ 10/3：中間報告会にて参加学生同士での意見交換を行います。
- ⑪ 10～12 月：NPO 活動体験期間（第 2 期）
- ⑫ 活動体験終了後、事後学習として派遣報告書を作成してください。
- ⑬ 1/29 まで：派遣報告書を提出してください【学生→CCRC】
  - 派遣報告書、派遣先からの評価書などをもとに成績を付与します。

※CCRC＝コミュニティ再生・ケアセンター

NPO団体リスト（依頼中）

No.	団体名称	所在地	事業内容	団体の目的	URL
01	千葉市民活動支援センター	千葉市中央区	市民活動のサポート	・市民活動を行っている人やグループの支援、 ・団体を立ち上げようとする人の支援。 ・これから地域活動やボランティアをしたい人へ「初めの一歩」の支援。	http://chiba-npo.net/
02	まちづくり千葉	千葉市中央区	コミュニティサポート 地域のイベント支援 等	千葉市からのイメージアップや地域としてのポテンシャルの上昇 「産」「官」「学」「民」が一体となったまちづくり 中心市街地に賑わいを取り戻す。さまざまな活動の支援	http://www.chal.jp/npo/
04	土気NGO	千葉市緑区	持続可能なまちづくり	この法人は、ストリートスポーツとファーマーズマーケットを通じて地域住民の交流を促す事業を行う。また、地元の住民・行政・大学・企業の間に入りお互いの要求をマッチングさせウィンウィンへの関係をつくり、時代に合った持続可能なコミュニティモデルを構築していく。その結果若者が日本や海外を地域から考えられるよう流れづくりを寄与することを目的とする。	http://tokengo.simdif.com/index.html
05	バランス21	千葉市若葉区	里山再生：谷当里山計画	谷津田再生と周辺里山林の環境保全を図り、「冬期湛水・不耕起栽培」で、水田復興をして、従来生息していた生きものを復活させ、無農薬栽培の米の生産を継続する。 周辺斜面林と里山林の整備により環境の保全に取り組む。	http://balance21.jimdo.com/
06	エコメッセちば実行委員会	千葉市中央区	環境イベント開催、交流会開催	持続可能な社会の実現を目指して、市民・企業・学校・行政が対等な立場で実行委員会を組織し、協働運営による環境イベントの開催と、環境保全の輪を広げ、個人や団体間の連携を支援しています。	
07	千葉中央おやこ劇場	千葉市中央区	子どもの体験活動の場づくり	子どもがその発達段階に応じて、自主的に仲間と創り出す文化的・社会的体験活動を行える機会や場を提供する。 例 年間4回の舞台芸術作品鑑賞、園児～小3までの親子で参加する「おやこキャンプ」、小4～中3の「子どもキャンプ」、その他季節の行事など。	http://ccoyako.blog.fc2.com/
08	千葉盲ろう者友の会	千葉市中央区	盲ろう者支援・盲ろう者福祉推進事業		
09	あすびれんと	千葉市若葉区	障がい者地域福祉施設	精神・知的・発達障がい者に対し臨床心理学的ケアを行い、彼らの自己実現をサポートする。	http://npo-aspirant.com/
10	ピオスの会	千葉市美浜区	生ゴミの資源化普及活動		
11	カフェバルコニーの家	千葉市美浜区	就労継続支援B型	1. 障壁のある人も無い人も、若者も、高齢者も地域で幸せな生活を送れる包括支援のあるまちづくりを目指します。 2. 医療関係者との連携の下、障壁を持っている人が夢と希望をもって安心した生活が送れるように生涯福祉サービスを提供していきます。	http://www.cafe-balcony.jp/
14	環境カウンセラー千葉県協議会	千葉市美浜区	環境対策活動の推進と支援	主に千葉県在住の環境カウンセラー（環境省に認定・登録された環境に関する専門家）を会員として、その環境保全に関する専門的な知識・経験にもとづき、市民、市民団体、事業者、教育・行政機関などの各主体とパートナーシップを形成し、環境保全活動を推進すること。	http://ecchiba.sakura.ne.jp
15	さいわい支援隊	千葉市美浜区	幸町団地で助け合い、支え合い活動を行う。	高齢化した美浜区幸町団地の住民の生活サポート	
16	情報ステーション		民間図書館での書籍貸出、整理、イベント補助。ちばぎんざ図書館		
17	ピーナッツクラブ西千葉	千葉市中央区	地域通貨の運営	西千葉地域を中心に流通する地域通貨「ピーナッツ」の運営を中心に、地域で人と人、人と街がつながる仕組みづくりや企画を展開しています。レギュラーイベントとして毎月第三土曜日に開催する第三土曜市や、CMやドラマなど地域PRのコンテンツ制作を行っています。	http://goo.gl/pbHtks
18	NPO支援センターちば	柏市若葉	市民活動・CB支援	NPO（民間非営利組織）や市民の参加により、行政・企業・非営利セクターが、対等な立場で協力・連携し、新しいコミュニティを構築することを目的としています。	
19	カモミール	柏市花野井	障害者支援	渉外を持つ人もそうでない人も、ともに地域で暮らし生活していくことを目標に、障がい者の生活支援・生活介護をおこなっている。	http://hanakoubou-chamomile.org/
20	こんぶくろ池自然の森	柏市中十余二	公園づくり（園内整備）		
21	松戸まちづくり会議	松戸市本町	まちづくり		
22	まつどNPO協議会	松戸市栗山	中間支援	様々な分野の市民活動団体相互の情報交換や連携、協働促進をおこなう他、市民へ団体の情報を提供し活動への支援を促すことで市民活動の発展を図る。また行政や企業と対等な関係を構築し協働することで、豊かで活力ある地域づくりに貢献する。	http://matsudo-npo.org
23	たすけあいの会ふれあいネットまつど	松戸市東平賀		高齢者、障がい者、子どもをはじめ地域に住む誰もが持っている「住み慣れた街で自分らしく人らしく暮らしたい」という願いを実現するために、1. 手助けを必要とする人へ「困ったときはお互いさま」の精神でたすけあい活動に取り組めます（対人援助活動）	http://frm2011.okoshi-yasu.com/
25	ちば地域再生リサーチ	千葉市美浜区	団地でのコミュニティビジネス	NPO法人ちば地域再生リサーチは、魅力あるニュータウン・団地の再生計画を実現することを目的とした専門家集団で、地域の方々と共に、暮らし、住まい、コミュニティのサポート活動をしています。	http://cr3.jp
26	ほのぼの研究所	柏市柏の葉	認知症予防支援サービス研究開発及び普及活動	写真を用いた会話支援技術に基づいて、超高齢社会を全世界に代って豊かにする健康づくり、人づくり、街づくり手法を、実践研究することを目的とする。	http://www.fonobono.org/
27	The School ECHO Project				
28	柏の葉カレッジリンク・ネットワーク	柏市柏の葉	街づくり・活性化事業	地域で活躍する団体・市民、大学、企業、行政などと連携し、地域における「環境」、「健康」、「農」、「食」に関する問題の解決や新しい価値の創造を行うことで、市民の手による市民にとって住みよい「街づくり」に貢献する。	http://www.1a.biglobe.ne.jp/c-link-net/
29	学童保育の会・この指とまれ	千葉市稲毛区	学童保育（放課後児童健全育成事業）	子どもが子どもらしく遊び「一人前の子ども」になれる場所を目指し、2004年に「学童クラブ 風の子ユウワチ」を立ち上げました。利用児童の保護者・保護者OBと指導員らが運営する手作りの学童保育です。子どもたちが放課後や長期の休みの時間を家庭の代わりに安全に過ごすこと、保護者が安心して子どもを預けて就労を続けられること、若い指導員がやりがいをもって働ける職場であること、学童保育の発展に寄与することを目的	http://k-syuwatch.org/
30	HELLO GARDEN	千葉市稲毛区	まちづくり	住宅街にある空き地を菜園として活用しつつ、収穫祭やピクニックなど様々なイベントを開催し、参加者が都市における自然な暮らしについて考えるきっかけを提供する。子ども、高齢者、主婦、学生といった地域住民と協働し、新たなコミュニティの形成を目指す。	http://hello-garden.tumblr.com
31	西千葉工作室	千葉市稲毛区	工作サポート・イベント企画・飲食店	千葉市稲毛区鶴町にて、地域のひとが集まる「ものづくりの場」の企画運営を行なっています。【「つくる」で日常をもっと楽しく。】を運営理念に掲げ、ものづくりを始めのきっかけと、続けるモチベーションを提供することを目標としています。地域に「つくる」場所があることで、人々があつまり、ものが生まれ、地域独自の文化になると考えています。	https://www.facebook.com/nishichibaks